

2020年10月9日

株式会社日立製作所と「ESG 経営支援ローン」を成約

株式会社三菱 UFJ 銀行（取締役頭取執行役員 ^{みけ} ^{かねつぐ} 三毛 兼承、以下「当行」）は、お客さまの ESG（環境・社会・ガバナンス）の取り組みを支援・サポートする ESG 評価型融資商品である「ESG 経営支援ローン（以下、「本商品」）」の取り扱いを行っております。

本商品の ESG 評価は、株式会社三菱 UFJ フィナンシャルグループの一員である三菱 UFJ リサーチ&コンサルティング株式会社（以下、「MURC」）をサービス提供者、グリーンファイナンスの認証実績のある株式会社日本格付研究所（以下、「JCR」）をサポート企業としております。MURC が ESG に関する独自のチェック項目に基づき、お客様の ESG に対する取り組みを評価、スコアリングを付与するとともに、JCR との連携で客観的な評価を実施し、課題等もお客様にフィードバックします。本商品は、評価結果が一定以上の企業を対象とした評価型の融資商品となります。

本日、株式会社日立製作所（執行役社長兼 CEO ^{ひがしはら} ^{としあき} 東原 敏昭、以下「日立」）は、ABB Ltd（以下、「ABB 社」）のパワーグリッド事業買収（以下、「本事業買収」）資金のリファイナンスとして、シンジケートローンを締結しました。このシンジケートローンの当行割当分について、当行は本商品を活用して支援しています。

また、MUFG ESG 評価において、「業界をリード」と最高評価である S ランクを取得しました。

世界各国の脱炭素化目標の重要性が高まる中、再生可能エネルギーはその性質上発電が断続的なため、柔軟で安定した運用の確立と連系系統が求められます。日立と、本事業買収により設立された Hitachi ABB Power Grids Ltd.は、“Powering Good for Sustainable Energy”を掲げ、グローバルトップのグリッドソリューションと先進的なデジタル技術の融合、顧客やパートナーとの革新的なエネルギーソリューションの協創を通じ、持続可能な社会の実現に貢献していくことを目指しています。

本ローンでは、日立の環境・社会課題解決に向けた取り組みを評価すると共に、資金使途（本事業買収）を通じて日立が目指す方向性についても、ファイナンスにて支援します。

【高く評価を受けた日立の ESG に関する取り組み】

- ◇ ESG 全ての領域において社会の要請に合致した取り組みを幅広く実践しており、したがって ESG の全てで高い評価となっている
- ◇ 意欲的な CO₂ 排出削減目標をバリューチェーン全体で設定している
- ◇ TCFD 提言への対応をいち早く進めている
- ◇ CSR 調達ガイドラインを策定し、サプライチェーンに周知するだけでなく、CSR 監査も実施してその実効性を高めている
- ◇ 人財の確保や育成を重要な戦略として位置づけ、グローバルに活躍する従業員のみならず、地域社会や子供たちへも教育機会を提供している
- ◇ ダイバーシティをイノベーションの源泉、日立の成長エンジンと定義し、働き方改革も含めて積極的に推進している

当行は金融機関の使命として、長期的な視点でお客さまや社会と末永い関係を築き、共に持続的な成長を実現することを経営ビジョンに掲げており、本業である金融機能を通じた環境及び社会の課題解決に積極的に取り組むことで、持続的な事業の成長と企業価値の向上の実現を目指しています。引き続き、お客さまの ESG の取り組みを支援し持続的な成長を後押しすることで、環境・社会課題の解決に貢献してまいります。

以 上